

リハビリテーション学科

【科目名】		学習・言語心理学		【担当教員】		宮岡 里美	
【授業区分】		専門基礎分野(リハビリ関連科目)		【授業コード】		2-14-0495-0-3	
【開講時期】		前期		【選択必修】		選択	
【単位数】		1		【コマ数】		15 コマ	
【注意事項】							
(受講者に関わる情報・履修条件)							
<p>本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。医療及び地域保健機関で言語・高次脳機能障害や精神機能障害等のリハビリテーションに従事してきた経験から、人の行動が学習により変化する過程及び言語習得の機序について講じます。</p> <p>本科目は公認心理師国家試験出題基準における指定科目です。また、認定心理士資格取得のための必須科目です。人は生をうけて生涯を終えるまでさまざまな行動を学習していきます。学習心理学では、これら行動と認知の基本的なメカニズムを概説していきます。特に、将来臨床現場で活躍することを希望する場合には受講していただきたいと思えます。</p>							
(受講のルールに関わる情報・予備知識)							
<p>この科目では10分以上の遅れで「遅刻」となります。申し出のない途中退室は欠席と見なします。他者に迷惑となる行為が認められた場合は、講義室から退出していただきます。</p> <p>試験結果・授業中に実施した心理テスト等のデータは、支障のない限り返却します。</p> <p>資料は全受講生に配付します。欠席した場合には、後日担当者から受け取り、必ず参照しておいて下さい。</p> <p>講義後にレポートを課す場合があります。また、心理テストも授業時間内に随時実施していきます。</p>							
【講義概要】							
(目的)							
<p>人の行動が変化する過程、及び 言語の習得における機序を学びます。ヒトは、誕生から死に至るまでさまざま行動を学習し、臨機応変に変化させていきます。本講義を通して、学習心理学の基本的理論と知見について学び、学習理論を心の支援に応用する考え方を理解していきます。また、ヒトは言語で他者とのコミュニケーションを交わしています。この言語習得のメカニズムを脳科学の観点からも学び、言語障害に対する基礎的支援法を実践できることを目的とします。</p> <p>当該科目と学位授与方針との関連性; A-2, P-2, O-1, S-2, R-1</p>							
(方法)							
<p>Power Point スライドを使用しての講義が中心となります。</p> <p>毎回試料の配布を行い、参考文献を紹介する。</p>							
【一般教育目標(GIO)】							
<p>学習の基本原理を学び、動物及び人間の行動の基盤には学習のメカニズムが機能していることを理解する。</p> <p>言語習得の基本プロセスと言語の機能(役割)を理解する。</p> <p>学習の障害、言語障害の機序を学び、適切な支援ができる。</p>							
【行動目標(SBO)】							
<p>人間の行動は変化することを説明できる。</p> <p>人間の行動は、ある程度は予測し、コントロールすることも可能であることを説明できる。</p> <p>学習の原理を日常生活場面や将来の臨床場面で応用していくことができる。</p> <p>障害に対して適切な支援ができる。</p>							
【教科書・リザーブドブック】							
<p>グラフィック学習心理学：行動と認知 / 山内光哉・春木豊(編著) / サイエンス社 / ¥2,677(税込)</p>							
【参考書】							
<p>学習心理学への招待(新心理学ライブラリ) / 篠原彰一著 / サイエンス社 / ¥ 2,520</p> <p>メイザーの学習と行動 / ジェームズ E メイザー(著) / 二瓶社(2008/06) / ¥4,200</p>							
【評価に関わる情報】							
(評価の基準・方法)							
<p>下記の評価基準により、100点満点で60点以上を合格とする。</p>							

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		70				30			100
評価指標	取り込む力・知識	40							40
	思考・推論・創造の力	20				10			30
	コラボレーションとリーダーシップ	10				20			30
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1.2	社会的学習 ・自己効力感 (self-efficacy) 社会的学習のまとめ	講義 一部演習	指定教科書p.144-148	20
3.4	技能学習 ・学習曲線 結果の知識 練習条件	講義 一部演習	指定教科書p.93-102	20
5.6	技能学習 ・技能の記憶 技能の転移 技能学習のまとめ	講義	指定教科書p.102-124	20
7.8	言語獲得と概念過程 ・言語の獲得 ・言語と概念形成	講義	指定教科書p.175-190	20
9.10	概念過程と言語獲得 ・言語と思考 ・言語と脳機能 (脳機能画像)	講義	指定教科書p.184-199	20
11.12	言語障害への支援 ・失語症 (Wernicke型、Broca型) ・失読・失書 (alexia and agraphia) ・発達障害	講義 ビデオ教材使用		20
13.14	問題解決と推理 学習理論の医療・福祉への応用	講義	指定教科書p.149-174	20
15	まとめ	講義		20